

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
碧南・高浜地域	碧南市、高浜市	平成25年4月1日～平成30年3月31日	平成25年4月1日～平成30年3月31日

1 目標の達成状況

(ごみ処理) 【2市】 (碧南市 + 高浜市)

指 標	現状 (割合※1) (平成23年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績 B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	11,908t	10,832t (91.0%)	14,041t (117.9%)	129.6%
	1 事業所当たりの排出量	2.3t	2.1t (91.3%)	3.1t (134.8%)	147.6%
	家庭系 総排出量	28,696t	28,329t (98.7%)	26,483t (92.3%)	93.5%
	1 人当たりの排出量	220.9kg/人	210.4kg/人 (95.2%)	199.1kg/人 (90.1%)	94.6%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	40,604t	39,161t (96.4%)	40,524t (99.8%)	103.5%	
再生利用量	直接資源化量	3,701t (9.1%)	4,310t (11.0%)	2,287t (5.6%)	53.1%
	総資源化量	7,298t (18.0%)	8,376t (21.4%)	5,735t (14.2%)	68.5%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—MWh	740MWh	912.8MWh	123.4%
減量化量	中間処理による減量化量	29,031t (71.5%)	27,371t (69.9%)	30,406t (75.0%)	111.1%
最終処分量	埋立最終処分量	5,019t (12.4%)	4,750t (12.1%)	4,935t (12.2%)	103.9%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(ごみ処理) 【碧南市】

指 標	現状 (割合※1) (平成23年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績 B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	7,905t	7,198t (91.1%)	9,278t (117.4%)	128.9%
	1 事業所当たりの排出量	2.2t	2.0t (90.9%)	3.0t (136.4%)	150.0%
	家庭系 総排出量	18,590t	18,237t (98.1%)	16,671t (89.7%)	91.4%
	1 人当たりの排出量	233.7kg/人	226.3kg/人 (96.8%)	208.6kg/人 (89.3%)	92.2%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	26,495t	25,435t (96.0%)	25,949t (97.9%)	102.0%	
再生利用量	直接資源化量	2,321t (8.8%)	2,671t (10.5%)	1,421t (5.5%)	53.2%
	総資源化量	4,706t (17.8%)	5,333t (21.0%)	3,764t (14.5%)	70.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—MWh	—MWh	—MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	18,984t (71.7%)	17,793t (70.0%)	19,445t (74.9%)	109.3%

最終処分量	埋立最終処分量	3,316t (12.5%)	3,174t (12.5%)	3,206t (12.4%)	101.0%
-------	---------	----------------	----------------	----------------	--------

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(ごみ処理) 【高浜市】

指 標		現状 (割合※1) (平成23年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績 B / 目標 A
排出量	事業系 総排出量	4,003t	3,634t (90.8%)	4,763t (119.0%)	131.1%
	1 事業所当たりの排出量	2.5t	2.2t (88.0%)	3.2t (128.0%)	145.5%
	家庭系 総排出量	10,106t	10,092t (99.9%)	9,812t (97.1%)	97.2%
	1 人当たりの排出量	200.5kg/人	190.2kg/人 (94.9%)	183.1kg/人 (91.3%)	96.3%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	14,109t	13,726t (97.3%)	14,575t (103.3%)	106.2%
再生利用量	直接資源化量	1,380t (9.8%)	1,639t (11.9%)	866t (5.9%)	52.8%
	総資源化量	2,592t (18.4%)	3,043t (22.2%)	1,971t (13.5%)	64.8%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—MWh	—MWh	—MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	10,047t (71.2%)	9,578t (69.8%)	10,961t (75.2%)	114.4%
最終処分量	埋立最終処分量	1,703t (12.1%)	1,576t (11.5%)	1,729t (11.9%)	109.7%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	1 1	有料化	碧南市、高浜市、衣浦衛生組合	指定ごみ袋の無料配布枚数の見直し、適正な費用負担の検討	平成25年度～平成29年度	26年度よりごみ処理施設使用料の一部有料化を図った。
	1 2	環境教育、普及啓発、助成等	碧南市、高浜市、衣浦衛生組合	施設見学、リサイクル講座、環境学習、周知活動等	平成25年度～平成29年度	碧南・高浜市内12校の小学4年生を対象に施設見学(クリーンセンター衣浦)を毎年実施したほか、出前講座及び環境学習を実施した。また、両市においてリサイクルに対する普及活動を実施した。

	1 3	マイバック運動・レジ袋対策	碧南市、高浜市	マイバック運動の推進及びレジ袋の無料配布の中止店舗の拡大	平成25年度～平成29年度	レジ袋の無料配布中止に係る施策を継続中である。
	1 4	資源物のリサイクル	碧南市、高浜市	資源の分別回収の継続、分別の徹底、再使用の推進、簡易包装や詰め替え商品の推進	平成25年度～平成29年度	資源の分別回収は継続中であり、住民や事業者に対し、ごみの分別を徹底するよう適宜指導を行った。
処理体制の構築、変更に関するもの	2 1	処理体制の継続	衣浦衛生組合	現行の処理体制の継続	平成25年度～平成29年度	現行の処理体制を継続し、ごみの減量化、資源化を推進した。長寿命化計画に基づき、ごみ処理施設の改良工事を実施し、延命化及び二酸化炭素の排出量を削減した。
	2 2	事業系廃棄物の処理	碧南市、高浜市	家庭系ごみと同様に処理円滑な広域処理を推進するため、事業者への発生抑制、資源化を指導	平成25年度～平成29年度	事業者へのごみの減量化・資源化に向けた指導や啓発を行った。
処理施設の整備に関するもの	1	クリーンセンター衣浦延命化工事	衣浦衛生組合	施設の延命化工事	平成26年度～平成28年度	平成29年3月28日完了
施設整備に係る計画支援に関するもの	3 1	廃棄物処理施設延命化工事発注仕様書作成業務	衣浦衛生組合	延命化工事の発注仕様書作成	平成25年度	平成26年3月25日完了
	4 1	廃棄物処理施設長寿命化計画策定業務	衣浦衛生組合	長寿命化計画の策定	平成25年度	平成26年3月25日完了
その他	5 1	再生利用品の需要拡大	衣浦衛生組合	フリーマーケットの開催及びリサイクルプラザの活用	平成25年度～平成29年度	年に2度フリーマーケットを開催した。リサイクルプラザを活用し、再利用の促進に努めた。

5 2	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	碧南市、高浜市	家電リサイクル法に基づく適切な回収、再商品化の普及啓発	平成25年度～平成29年度	PR冊子及びホームページ等により普及啓発を行った。
5 3	不法投棄対策	碧南市、高浜市	不法投棄されたごみの処理及び再発防止に取り組む	平成25年度～平成29年度	市職員及び委託業者による定期的な市内パトロールや連絡委員会を中心とした地域住民の通報等により、不法に投棄されたごみの処理及び再発防止に努めた。
5 4	災害廃棄物の対策	碧南市、高浜市	災害廃棄物の一時保管場所の確保に努める	平成25年度～平成29年度	平成29年度に「高浜市災害廃棄物処理計画」を、平成30年度に「碧南市災害廃棄物処理計画」を策定した。

3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

(1) 削減量 (実績)

(事業実施による本報告の対象とする期間における二酸化炭素の削減量について、算定方法及び算定根拠と併せて記入する。また、算定根拠として使用した具体的な資料を添付する。)

クリーンセンター衣浦延命化工事による二酸化炭素削減効果 (目標値3%)
平成29年1月24日に行った引渡性能試験の結果、二酸化炭素削減率は、24.41%であった。
詳細は別紙「二酸化炭素排出量及び削減率計算書」のとおり。

(2) 削減量に達しなかった場合の原因

((1)の削減量(実績)が、延命化計画又は同様の内容を含む他の計画において算定した二酸化炭素削減量に達しなかった場合に、その原因を分析し、その結果を詳細かつ具体的に記入する。(上記計画において算定した二酸化炭素削減量に達した場合は、記入を要しない。))

4 目標の達成状況に関する評価

排出量 事業系 総排出量、1事業所当たりの排出量は、目標を達成できなかった。
目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。

排出量 家庭系 総排出量、1人当たりの排出量は、目標を達成できた。
製造段階での容器包装の減量化が進んだこと、啓発等による発生抑制の効果、電子書籍の普及による新聞、雑誌の発行数が起因する排出量の減少などが考えられる。

排出量 合計 事業系生活系総排出量合計は目標を達成できなかった。
目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。

再生利用量 直接資源化量、総資源化量は目標を達成できなかった。
目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。

熱回収量 熱回収量（年間の発電電力量）は目標を達成できた。
小型蒸気発電機を新たに設置したことによる。

減量化量 中間処理による減量化量は目標を達成できた。
基幹的設備改良工事により燃焼効率が上昇したことによる。

最終処分量 埋立最終処分量は目標を達成できなかった。
目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

家庭系の総排出量及び1人当たりの排出量については、目標を達成している。これは、容器包装の減量化が進んだこと、新聞、雑誌の発行数が減少としたこととともに、発生抑制に係る啓発の効果があったと想定される。

熱発生量については、目標を達成している。これは、小型蒸気発電機を新たに設置した効果によるものと想定される。

事業系の総排出量及び1事業所当たりの排出量、事業系家庭系総排出量合計、再生利用量（直接資源化量及び総資源化量）並びに最終処分量については、目標を達成できていない。

これらの目標非達成項目に関する所見については、循環型社会形成推進地域計画改善計画書に記載する。

各施策の実施について、発生抑制、再使用の推進に関する施策では、積極的に普及啓発活動が実施される等、概ね計画のとおりを実施されたものとする。処理施設の整備に関する施策は、計画のとおり整備され、安定した稼働が確認できる。その他の施策についても、計画どおり施策が実施されている。